

# 平成26年度 胎内市算数部 活動報告

部長 榎本 和代

## 1 研究主題

授業や講演をとおして、指導力の向上及び小中の連携を図る

## 2 研究内容の概要

(1) 第1回部会 「事業計画の立案」 会場 きのと小学校 16:00～

(2) 第2回部会 「講演会」 会場 きのと小学校 9:30～

① 講演 子どもの学ぶ意欲を高める算数・数学の授業づくり

② 講師 田上町立田上小学校教頭 平山 誠 様

③ 概略

- ・ 学ぶ意欲とは、学習者が意志をもって、自発的に学習活動を求めようとする心の働きである。
- ・ 「分からなさ」を共有し、みんなで支え合うことが学校で学ぶ意義であり価値あることである。
- ・ 教師の意識を変えることで授業＝子どもが変わる。(教材研究が大切)



(3) 第3回部会 「公開授業及び参観・協議」会場 乙中学校 14:00～

① 授業者 内山 秀実 教諭 (乙中学校)

中野 貴広 教諭 (乙中学校)

② 指導者 下越教育事務所 学校支援第2課 指導主事 高橋 哲衛 様

③ 単元名 「比例と反比例」

④ ねらい

- ・ 仲間との交流の場を通して、身の回りの事象の中にある比例関係を見だし、いくつかの解決方法があることを理解し、そのことが正しいかどうかの判断を根拠を基に自分の言葉で説明することができる。

⑤ 参観後の意見・感想等

- ・ 友だちと相談したり考えを伝え合ったりして、自分の考えを確認することができた。仲間の意見も知ることができた。
- ・ 個の思考の前に、分かっていること、分からないことの確認や比例なのかどうかの確認をする必要があった。(針金の長さや重さが比例するというを押さえ、 $x$ と $y$ の値がそれぞれ何の数値なのか確認する。)
- ・ 実際に導入で提示した針金は何重にも巻かれていてほぐせない。だから、比例を使って求めさせ、そこで、比例のよさに気付かせるようにしたい。



## 3 成果と課題

### (1) 成果

① 講演会では、実際に講師先生が撮影した授業の様子を見たり、講師先生が改作された全国学力学習改善調査問題を解いたりした。具体的に私たち教師の指導力を高めること、児童生徒に力を付けるために教材研究が大切であること、小中連携の指導のあり方等について理解を深めることができた。

② 公開授業では、「比例と反比例」の授業で小学校から中学校へのつながりがあり、活発な意見交換がなされ小中の連携を図ることができた。

### (2) 課題

○ 小学校でも中学校でも学習する内容の授業はよかった。今後も、小中連携して、授業を提案していくとよい。